



『東北圏だより』



東北放射光施設の実現に向けた取組について

宮城県

■放射光施設とは

放射光施設とは、強力な光を使った巨大な顕微鏡で、国家的な研究基盤施設です。

国内では、兵庫県のSPring-8(スプリング 8)など関東以西に9ヶ所設置され、医薬・化学・エネルギー・機械電子など幅広い分野で最先端の研究が行われています。

■協議会の設立

これまで、東北地方の7国立大学が、放射光施設の空白域となっている東北への施設設置を目指した「東北放射光施設構想」を掲げ、様々な取組を行ってきました。

この構想が実現すれば、東北のものづくり産業にイノベーションをもたらし、東北地方の活性化や東日本大震災からの復興に大きく貢献することが期待されます。

また、今年度、国においては、ワーキンググループを設置し、全国的な視点から次世代放射光施設の在り方を検討しています。

このような状況を踏まえ、東北地方の産学官27団体は、7月18日に、東北への施設設置機運の醸成と施設利用について理解促進を図る取組を行うことにより、施設構想の実現に寄与することを目的とした「東北放射光施設推進協議会」を設立しました。

■シンポジウムの開催

協議会活動の第一弾として、同日に設立記念シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、高エネルギー加速器研究機構の吉岡名誉教授から、放射光施設が東北のものづくり産業にもたらすイノベーション創出の可能性について、また、東北放射光施設推進室長の濱東北大学教授から、東北放射光施設構想の概要について、御講演いただきました。

シンポジウムには、企業、学術機関、行政関係者など募集定員を大幅に上回る約450人の参加があり、東北放射光施設に対する期待の大きさが感じられました。

■今後の取組

協議会では、今後、協議会の産学官が連携・協力しながら、一層の機運の醸成と施設利用への理解促進に努め、東北放射光施設の早期実現に向けた取組を積極的に進めてまいります。

なお、協議会は、活動を応援してくれるサポーターを随時募集しています。「放射光施設を東北に！」との想いに御賛同いただける方は、是非、以下のURLからサポーター登録をよろしくお願いいたします。



「東北楽天ゴールデンイーグルス」を東北観光親善大使に任命

東北運輸局

東北運輸局及び東北観光推進機構は、7月11日に「東北楽天ゴールデンイーグルス」を「東北観光親善大使」に任命いたしました。

東北観光親善大使は、東北の自然、歴史、文化等を広く国内外に紹介することにより、東北における観光振興を効果的に推進することを目的として設置しているもので、これまでに「MONKEY MAJIK」(モンキーマジック)、「Rake」(レイク)を任命しています。

今回は、昨年悲願の優勝を果たし、東北に感動と元気を与えてくれた東北楽天ゴールデンイーグルスを任命することで、東日本大震災以降、落ち込んでいる東北への観光客の誘致拡大に寄与することを期待しています。

今後は、東北楽天ゴールデンイーグルスと連携し様々なイベントや企画を通じて、東北を国内外にPRしていくこととしています。任命式の様子は東北運輸局HP及び「東北物語ポータルサイト」からご覧いただけます。

東北運輸局：<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/ks/ks-sub.html>

東北物語：<http://tohoku-monogatari.org/p/content0149.html>



「復興商店街でつなぐ旅スタンプラリー」開催中！

東北運輸局

太平洋沿岸エリアと東北一円の周遊促進を図るために、観光庁、NEXCO 東日本、東北道の駅連絡協議会、東北観光推進機構、東北楽天ゴールデンイーグルスと連携し「復興商店街でつなぐ旅スタンプラリー」企画を平成26年7月12日から平成27年2月28日まで実施しております。

ガイドブック内のスタンプラリー台紙かスマートフォンで旅アプリ『旅ぷら』をダウンロードの上、異なる復興商店街のスタンプを2個、東北地方の道の駅1個、NEXCO東日本管内の商業施設のあるサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)に設置してあるハイウェイスタンプを1個、計4個押印してご応募いただくと抽選で豪華商品が当たります。さらに、楽天イーグルス賞として、復興商店街スタンプとコボスタ宮城内に設置されたスタンプを押印することで、楽天イーグルスチケットが当たるなどガイドブック1冊で、多彩な楽しみを味わうことができる企画となっていますので、ぜひ、このスタンプラリーを活用し、東北周遊をお楽しみください。

詳細は「東北物語ポータルサイト」

→ <http://tohoku-monogatari.org/p/stamp2013.html>



都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観形成に向けた取組の普及啓発活動の一環として、毎年実施されている表彰制度であり、公共的空間と建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、市民に十分に活用されている地区を対象にした「都市空間部門」と、小中学校等における景観まちづくり教育、まち歩きや景観に関するセミナーなど、景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等に取り組んでいる活動を対象にした「景観教育・普及啓発部門」の2つの部門で実施されています。

本年度は、全国各地からの応募の中から、「都市空間部門」では、鶴岡市の「鶴岡市シビックコア周辺地区（鶴岡市、馬場町五日町線まちづくり協議会）」が大賞（国土交通大臣賞）、白河市の「小峰城跡・白河駅周辺地区（白河市、株式会社白河、特定非営利活動法人 しらかわ建築サポートセンター）」が優秀賞（公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）を受賞しました。「景観教育・普及啓発部門」では、一関市の「骨寺村荘園遺跡の景観保全活動を通じた地域づくり事業（本寺地区地域づくり推進協議会）」が優秀賞を受賞しました。



▲鶴岡公園内の景観と一体となって、春の桜をはじめ、四季折々の魅力を見せる大宝館

6月16日に東京都文京区のすまい・るホールで行われた「まちづくりと景観を考える全国大会」の中で表彰式が執り行われ、大賞を受賞された「鶴岡市シビックコア周辺地区」の馬場町五日町線まちづくり協議会会長の若木昭宏氏に、坂井国土交通大臣政務官から表彰状が授与されました。

これからも、東北各地の素晴らしい都市景観が全国に発信されていくように、皆様の取り組みを支援していくこととしております。



▲大正ロマン漂うJR白河駅舎（右下）や小峰城道場跡遺構（中央）を中心とした、白河駅周辺の景観



▲一関市本寺地区は、中世に描かれた絵図の風景が今もなおそのままの形で色濃く残る地区。昔ながらの手刈での稲刈り体験学習の風景の一コマ



▲坂井大臣政務官より、若木氏へ表彰状が授与されました



▲全国大会の会場に設置された都市景観大賞の「鶴岡市シビックコア周辺地区」のパネルを見入る来場者

去る7月25日（金）に第26回東北圏広域地方計画協議会検討会議幹事会を開催いたしました。今回の幹事会では、「東北圏広域地方計画の推進状況（第二次案）」と「東日本大震災を踏まえた12の課題（第二次案）」について説明を行いました。次に、国土交通本省より国土形成計画の見直しの動きについて説明があり、続いて、事務局より国土強靱化の動きについて情報提供を行いました。

各構成機関の皆様におかれましては、第二次案に対する意見照会が短期間であったにもかかわらずご対応頂き、深く感謝申し上げますとともに、今後も様々なご依頼をすることになるかと思いますので、何卒ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



▲幹事会の様子

編集後記

今年の夏も暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。東北各地では、盛大に夏祭りが開催され、多くの人で賑わっております。個人的には、8月6日から3日間開催された仙台七夕祭りの雰囲気味わおうと、職場から定禅寺通・一番町通・中央通を抜けて仙台駅まで歩いてみました。店舗ごとに工夫をこらした七夕飾りを見ながら、久しぶりに仙台の夏を感じることができました。

まだまだ暑い日が続きますが、夏の暑さを仕事のエネルギーに変えて、頑張りましょう。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。

メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp